

**井上勝** 鉄道技術者、官僚。"鉄道の父"。日本初の鉄道建設に従事し、機関車の国産化のため会社を設立。

いのうえまさる

順天堂始 1843 = 長州藩士の第三子に生まれ、

**阿部正弘首座** 1845 = 2歳 :

野村家の養子となる。

**万次郎帰国** 1852 = 9歳 :

**ペリー来航** 1853 = 10歳 :

**桜田門外変** 1860 = 17歳 :

**遣欧使節** 1861 = 18歳 :

8月18日政変 1863 = 20歳 : 同藩の井上馨、伊藤博文らとともに国禁をおかして渡英。

\_ 鉱山と鉄道を研究して、

**明治維新** 1868 = 25歳 : 帰国し、井上姓に復する。

戊辰戦争終 1869 = 26歳 : 造幣頭兼鉱山正、

初の日刊新聞 1870 = 27歳 : \*日本最初の鉄道である東京~横浜間の鉄道建設開始とともに、民部権大丞兼鉱山正、

廃藩置県 1871 = 28歳 : 工部大丞から、鉱山頭兼鉄道頭に就任、

学問のすすめ 1872 = 29歳 : 鉄道の正式開業を前に、鉱山頭専任となる。

**明治6年政変** 1873 = 30歳 : 一時退官、

佐賀の乱 1874 = 31歳 : 再任。\_自ら大阪に赴いて、阪神間・京阪間の建設工事に従事。

**西南戦争** 1877 = 34歳 : 工部少輔、\_ 鉄道局長、

琉球処分 1879 = 36歳 : \*技監。

**明治14年政変** 1881 = 38歳 : 工部大輔、この間、\_資金不足で停滞する鉄道建設の進展を政府に訴え、幹線鉄道国有主義を主張、

岩倉具視没 1883 = 40歳 : \_一旦中山道に決定した東京・京都間の幹線ルートの問題を指摘し、東海道への変更を説く。

内閣発足 1885 = 42歳 : \_内閣直属の初代鉄道庁長官になると、伊藤首相を説得して経路変更を実現、

\_自ら工事現場を督励して、

初の対等条約 1888 = 45歳 :

**帝国憲法発布** 1889 = 46歳 : \*東京・神戸間の東海道本線を全通させた。

帝国議会始 1890 = 47歳 : 鉄道局の内務省移管後も鉄道庁長官、貴族院議員となる。

足尾鉱毒始 1891 = 48歳 : 鉄道の建設・運営の国家管理をめざす「鉄道政略二関スル議」を提出して、鉄道法整備を基礎づける。岩崎弥助の援助を受けて、小岩井農場を設立(のち三菱合資の直接経営となる)。

大本教 1892 = 49歳 : 鉄道庁の逓信省移管後、鉄道局長官となり、

郡司千島探検 1893 = 50歳 : \*退官。

**日清戦争始** 1894 = 51歳 :

白馬会 1896 = 53歳 : 機関車の国産化のため大阪に汽車製造合資会社を設立、社長となる。

八幡製鉄始 1897 = 54歳 :

**日露戦争終** 1905 = 62歳 :

満鉄発足 1906 = 63歳 :

**伊藤博文暗殺** 1909 = 66歳 : \_帝国鉄道協会の会長に就任。

韓国併合 1910 = 67歳 : \_鉄道院顧問として欧米の鉄道視察の途上、ロンドンで客死した。